第60号
平成21年6月

フクダニュース

発　行
(株)フクダ
砕石部

公害防止協定見直し締結

当社では、本年９月に岩石採取認可期間が満了となることから、サッパ沢地区にあたり採掘地の拡大を計画しております。

今回拡大するにあたり二戸市と既存の公害防止協定を見直し、新たに協定を締結させていただきました。また、関係する官庁、地権者、水利権者等地元の方々にもご理解とご協力をいただきました。

今回は5年の認可を申請することとしておりますが、私共採石業は息の長い事業であり、事業の続く限り法令遵守を旨とし、地域の方々と共生できるよう努力してまいります。

拡張採掘計画景観図

隗より始めよ

当社は、５月から担当ごとの代表５人により運営会議を開催している。議題は、週の製造計画と日常の問題点を出し合って少しずつでも改善していこうというものである。

その中で、本年度５Ｓに取り組もうということになり、５Ｓ推進委員会をつくり、まずは、片付けから始めていこうとなる。やりだすと身の周りに不要なものがいっぱいあることがわかる。不要なものを置いておくスペースのムダ、二重に発注してしまうお金のムダ。５Ｓの効能は大きい。必要なものを探す時間のムダ、いきなり見ちがえるようにはならないかもしれないが、一歩ずつ後戻りしないように実施していきたい。安全にも、品質にも、コストにも妙薬となることを期待したい。

新戦力紹介

５月から電気工事関係の仕事していた山口隆さんが入社しました。異色のキャリアですが、逆に異業種の目を失わず、新風を吹き込んでもらいたいと思います。本人は、テニス・ソフトバレー・消防団・農業と色々こなすエネルギッシュな青年（？）です。

写真は若い頃の藤竜也ではありません。正真正銘の山口隆です。

（本人から一言）
覚える事が沢山あって、大変ですが頑張りますので、どうぞ宜しくお願いします。

安でsite　～すりへり減量のこと～

砕石試験規格に「ロサンゼルス試験機によるすりへり減量試験」というのがある。

鉄の樽の中に試料と鋼球を入れ所定の回数を回して前後で粉（１．７㎜以下）になった量をすりへった量としてその砕石の耐摩耗性を定量化する試験である。

当然硬い石はすりへらないし、軟い石はすりへり量が多い。またあらかじめ角のとれた丸味のある石はすりへり量が少ないようである。当社の場合２％程度の違いがある。ちなみにＪＩＳで決められた規格値は４０％以下であるが通常表層の舗装には１５％以下のものが使われることが多い。

舗装道路の性能は荷重を支える力と表面を保護する力が求められている。今日も日本全体で砕石は身を粉にして道路を守っているのである。

すずめのお宿

ある月曜日の朝・・・事務所へ入るとすずめが一羽身の置所がなく机の下に隠れたり、ガラスにぶつかったりしているのではないか。

窓の下には、白いフンの跡があり、最低一晩は宿泊した形跡がある。

ここで「舌切すずめ」の悪いばあさんはすずめの舌をちょん切ってしまうのであるが、ここは一計、すずめのお宿ご招待を期待して逃がしてあげた。

すずめのお宿のお土産は確か小さいつづらを選ぶのであったなと楽しみにしていると、遠路島根県からお客さんが来た。島根大学理工学部の石賀先生という方で山を見せて欲しいとのこと。

お土産に『どじょうすくいまんじゅう』持って来てくれた。また、日本の地質構造や東北地方の岩石の成因について1時間ばかり解説していただいた。

ありがたや　すずめのご利益！

珍客が遠客を呼んでいただいたが、叶うなら助けたすずめがたくさんのお客様を連れてきて先客万来を願うのだが、一羽のすずめに対しては過大な期待であるか・・・。

永年勤続優良従業員表彰

当社の山口美歌さんが岩手県採石工業組合の永年勤続優良従業員表彰を受賞しました。

山口さんは入社以来12年間、男ばっかりの職場で、しかも運転手を相手に可愛がられ・・恐がられ？配車業務をこなしてもらっています。受注・配車業務は、お客様(現場)と会社を直接つなぐ受付嬢であり、瞬時の判断が求められる管制官です。それをなんと１２年も・・感謝　感謝。

表彰式では、受賞者を代表して立派に謝辞を述べさせていただきました。おめでとうございます。

編集後記

御愛読御礼

お蔭様で今回第６０号を発行することが出来ました。６年目もアナログにこだわり、できるだけ明るい話題を提供していきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。